

大町市のあらまし

市の木・花・獣及び鳥

「ライチョウ」



「オオヤマザクラ」



「カタクリ」



「ニホンカモシカ」

大町市議会事務局

令和5年度版

市 勢 の 概 要

(1) 位置・概要

長野県の北西部、松本平の北に位置する大町市は、3,000メートル級の山々が連なる北アルプス山脈の麓に位置し、清冽な雪解け水と澄んだ空気、四季折々の景観に恵まれ、黒部ダム、立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口として、多くの観光客で賑わう山岳観光都市です。

人口は約2万6,000人、北の白岳から南の槍ヶ岳頂上までを収め、市街地の標高は700メートル余りの典型的な内陸性の気候で、青木湖・中綱湖・木崎湖の三つの湖が連なる仁科三湖や、豊富な温泉、国宝仁科神明宮や全国でも珍しい子どもによる流鏝馬（やぶさめ）が行われる若一王子神社など豊かな自然と文化の風薫る地です。

○市役所の位置

長野県大町市大町3887番地

○支所の名称・位置

八坂支所・大町市八坂 1108番地1

美麻支所・大町市美麻 11810番地イ

○市の位置（観測点：大町市役所）

東経 137° 51' 3"

北緯 36° 30' 10"

海拔 726メートル

○面積 565.15km²

（合併前464.84km²）

(2) 市制施行

○新設合併 昭和29年7月1日

- ・大町、平村、常盤村、社村が合併
（人口30,508人）

○編入合併 平成18年1月1日

- ・八坂村、美麻村が編入
（人口32,567人）



(3) 大町市の出来事（令和4年）

- 3月 2日 第1回信濃大町100人衆会議を開催
- 3月15日 第5次総合計画後期基本計画を策定
- 5月14日 「サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場」ブランド体験型施設グランドオープン
- 5月24日 B & G財団「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業に選定
- 7月14日 牛越市政5期目スタート
- 8月19日 東京都立川市との姉妹都市交流事業「森林保全隊」を開催
- 9月 2日 （一社）日本昔ばなし協会「海ノ民話のまちプロジェクト」の「海ノ民話のまち」に認定
- 10月 1日 信濃大町AIR事業「おもいっきり、水」を開催（10日間）
- 10月29日 みずのわシンポジウム及び長野コーヒーフェスティバルの開催
- 11月19日 おおまびよん10周年記念ファン感謝祭2022の開催
- 11月24日 大町市氷見市姉妹都市提携50周年及び西公園開園50周年記念交換植樹

(4) 市の施策方針

【基本理念】

『郷土や文化に誇りを持ち 心から地域を愛するひとを育てる』

【市の将来像】

『未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち』

大町市第5次総合計画（平成29年度～令和8年度）において、まちづくりの原点は、ひとづくりとの認識のもと、長い歴史に培われた文化や郷土に誇りを持ち、心から地域を愛するひとを育てることを基本として、産業をはじめ、教育、福祉、環境など様々な分野で活躍し、大町市の発展を支えるひとを育むこと。

さらには、地域におけるひとづくりでは、地域社会の活動やまちづくりに積極的に参画する意識を育み、行政との協働のパートナーとして、ともに大町市を創りあげていくという願いを込めて、基本理念と将来像を定めています。

この基本理念をもとに、5つの「まちづくりのテーマ」を掲げ、市の将来像の実現を目指しています。

【まちづくりのテーマ】

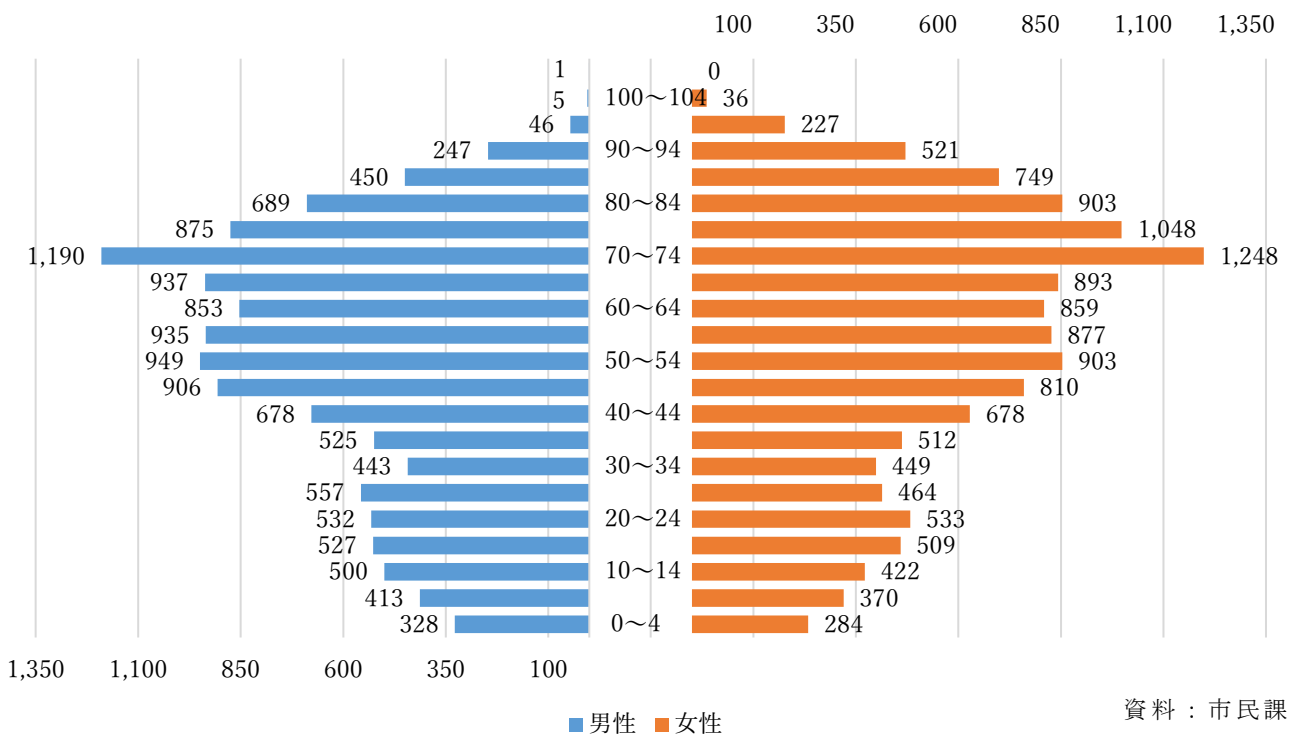
- 1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち
- 2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち
- 3 だれもが健康で安心して暮らせるまち
- 4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち
- 5 市民の参画と協働でつくるまち

(5) 人口の推移及び世帯

* 住民基本台帳人口 各年 4 月 1 日現在

年次	区分	人 口(人)			世帯数 (世帯)
		総数	男	女	
平成 23 年		30,556	14,786	15,770	11,975
平成 24 年		30,184	14,632	15,552	11,966
平成 25 年		29,709	14,377	15,332	11,728
平成 26 年		29,386	14,224	15,162	11,775
平成 27 年		29,050	14,076	14,974	11,774
平成 28 年		28,666	13,899	14,767	11,801
平成 29 年		28,255	13,749	14,506	11,808
平成 30 年		27,803	13,534	14,269	11,817
平成 31 年		27,417	13,295	14,122	11,844
令和 2 年		27,006	13,123	13,883	11,861
令和 3 年		26,630	12,930	13,700	11,887
令和 4 年		26,237	12,778	13,459	11,878
令和 5 年		25,881	12,586	13,295	11,948

年代別人口 (令和 5 年 4 月 1 日現在)



資料：市民課

(6) 姉妹都市・友好都市



メンドシーノ(アメリカ合衆国)

昭和 55 年 5 月 31 日提携 (旧美麻村)

メンドシーノは、サンフランシスコからおおよそ 250km 北上した海岸沿いにある人口約 900 人の町です。旧美麻村とは版画家の吉田遠志氏を通じて国際姉妹村を締結し、相互訪問などの交流を進めてきました。大町市との合併後も姉妹都市として交流が引き継がれています。



インスブルック(オーストリア共和国)

昭和 60 年 2 月 18 日提携

インスブルックは、オーストリアのチロル州の州都で、人口は約 13 万 2 千人の古都です。同市のアルプス動物園のアルプスマーモットと大町山岳博物館のカモシカとの交換が契機となり友好都市となりました。



氷見市(富山県)

昭和 47 年 11 月 20 日提携

氷見市は、能登半島に位置し、富山湾を望む人口約 4 万 3000 人の市です。長野県と富山県を結ぶ立山アルペンルートが昭和 46 年に全線開通を契機に、海のまち氷見市と山のまち大町市は姉妹都市になりました。



立川市(東京都)

平成 3 年 3 月 25 日提携

立川市は、東京都の多摩地域に位置し、人口は約 18 万 5000 人の市です。都市と農村を結ぶ交流事業を契機として、地方行政・文化・スポーツなどの面でより一層広範な交流と協力を推進するため、姉妹都市になりました。

(7) 各会計当初予算

令和5年度大町市一般会計予算

(単位:千円、%)

歳入			歳出		
区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
市 税	4,207,710	24.2	議 会 費	155,757	0.9
地 方 譲 与 税	206,980	1.2	総 務 費	3,113,097	17.9
利 子 割 交 付 金	1,640	0.0	民 生 費	4,378,288	25.2
配 当 割 交 付 金	13,000	0.1	衛 生 費	2,769,270	16.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	17,000	0.1	労 働 費	128,139	0.7
法 人 事 業 税 交 付 金	68,000	0.4	農 林 水 産 業 費	764,027	4.4
地 方 消 費 税 交 付 金	710,000	4.1	商 工 費	1,466,459	8.4
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,500	0.0	土 木 費	1,381,341	8.0
環 境 性 能 割 交 付 金	24,000	0.1	消 防 費	506,077	2.9
地 方 特 例 交 付 金	17,000	0.1	教 育 費	1,212,382	7.0
地 方 交 付 税	5,688,308	32.8	災 害 復 旧 費	1	0.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,312	0.0	公 債 費	1,454,162	8.4
分 担 金 及 び 負 担 金	72,265	0.4	予 備 費	30,000	0.2
使 用 料 及 び 手 数 料	261,082	1.5			
国 庫 支 出 金	1,213,935	7.0			
県 支 出 金	986,004	5.7			
財 産 収 入	18,789	0.1			
寄 附 金	120,001	0.7			
繰 入 金	1,307,650	7.5			
繰 越 金	200,000	1.2			
諸 収 入	1,387,756	8.0			
市 債	833,068	4.8			
歳 入 合 計	17,359,000	100.0	歳 出 合 計	17,359,000	100.0

令和5年度特別会計・企業会計予算

(単位:千円)

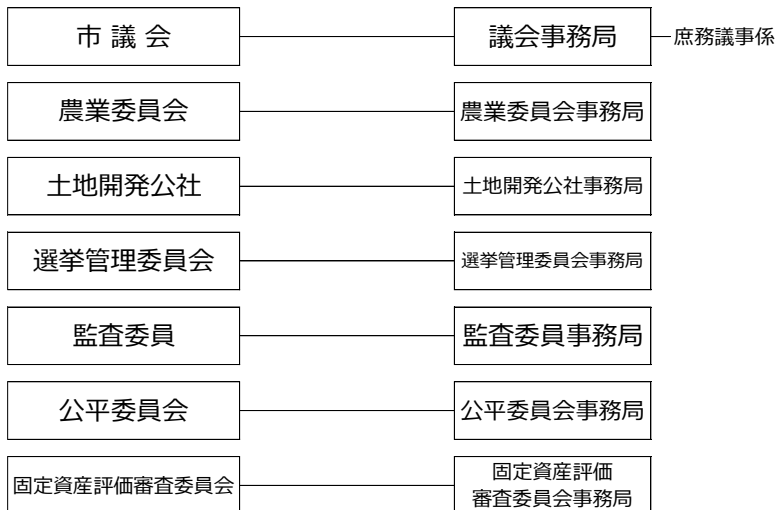
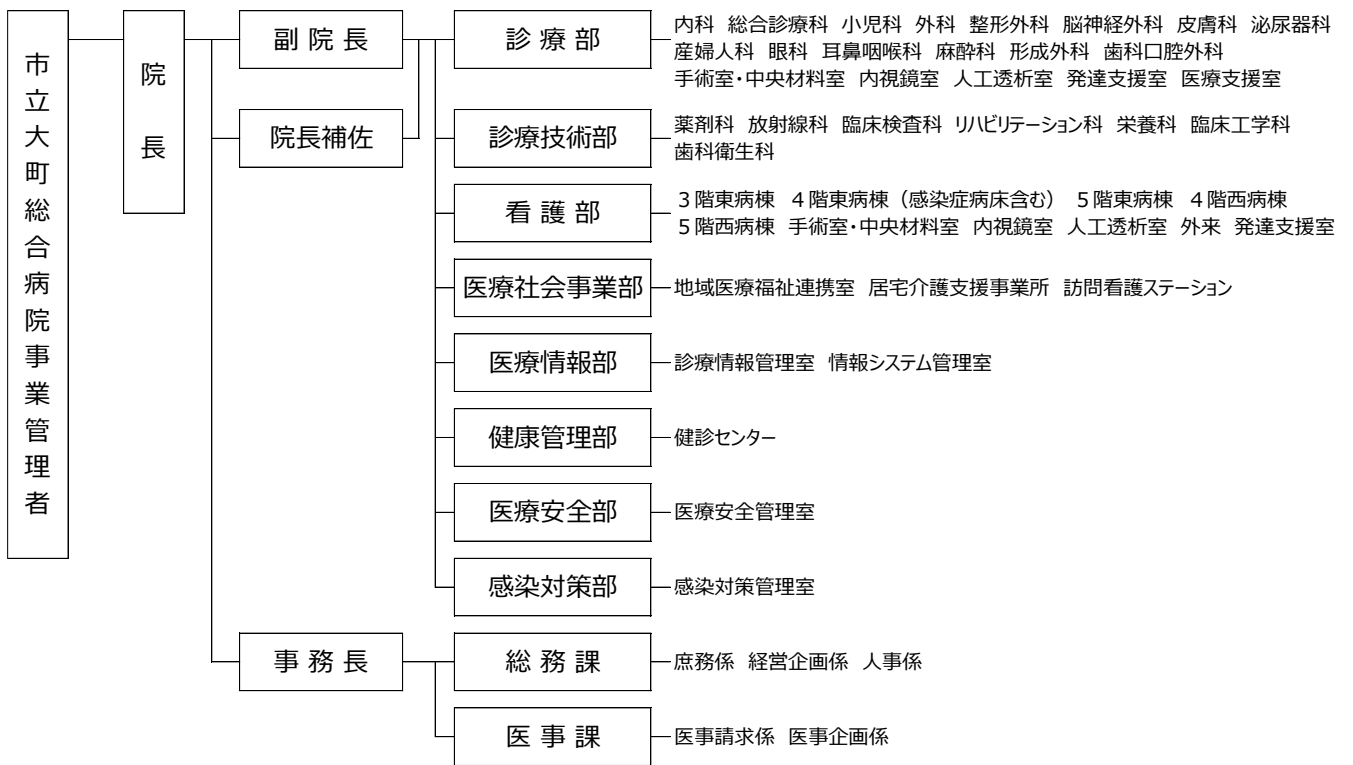
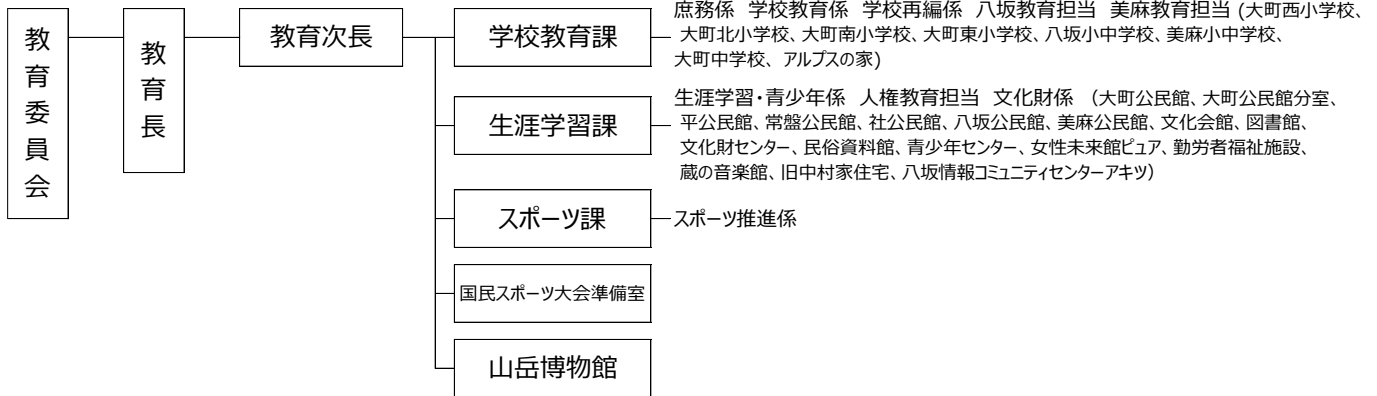
区分	予算額
水道事業会計(企業会計)	785,149
温泉引湯事業会計(企業会計)	79,396
公共下水道事業会計(企業会計)	1,790,938
農業集落排水事業会計(企業会計)	171,555
病院事業会計(企業会計)	5,878,068
国民健康保険(特別会計)	3,217,080
後期高齢者医療(特別会計)	427,456
公営簡易水道事業(特別会計)	271,101
合 計	12,620,743

(8) 行政組織

大町市行政組織機構図

令和5年4月1日





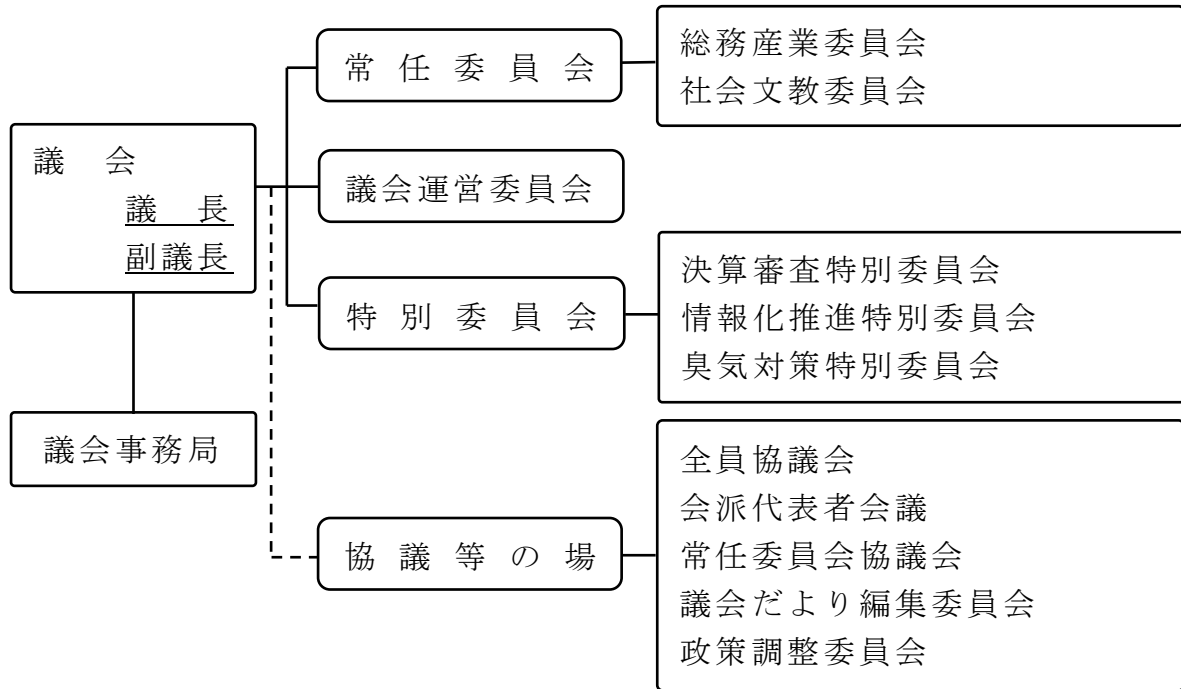
※ () は附属施設、または、管理している施設

議会の構成

(1) 議員定数（令和5年4月30日現在）

条例定数 16人 任期：令和5年4月30日から
 令和9年4月29日まで
 現員数 16人

(2) 議会の組織



(3) 議員構成（令和5年5月8日現在）

○党派別

党派別	無所属	公明党	日本共産党
議員数	13	1	2

○現議員当選回数

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
人数	4	6	0	2	1	1	1	1

○会派別

名称	無所属クラブ	峻嶺会	日本共産党 大町市議団
人数	2	2	2
名称	市民クラブ	政友クラブ	無会派
人数	2	5	3

○男女別 男性 14人 女性 2人

○年齢別 最年長 77歳 最年少 38歳

年代	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	平均
人数	1	4	4	3	4	57.75歳

○任期 正・副議長 2年（申し合わせ）
 常任委員長 2年（委員会条例）

（4）議員及び特別職等報酬状況

議員	議長 374,000円	副議長 313,000円	議員 296,000円	常任委員長 手当等なし
特別職	市長 801,000円	副市長 662,000円	教育長 570,000円	

（5）議会開催状況（令和4年）

定例会 4回（会期90日）
 臨時会 2回（会期2日）
 全員協議会 9回

○定例会の流れ

内容	備考
招集告示	市長の告示、招集日の前7日
議会運営委員会	議案配付・説明、会期日程（案）の決定。 招集日の前7日に開催
本会議（開会）	提案理由の説明、議案質疑、委員会付託、 請願・陳情文書報告。1～2日間
全員協議会	執行機関における報告、説明
休会	4～5日間 議案等の調査
本会議（一般質問）	追加上程があれば、提案理由の説明、議案質疑、 委員会付託
常任委員会	3～4日間。審査議案数等により異なる。 常任委員会は同時開催
休会	3～5日間程度
本会議（最終日）	委員長審査報告、委員長報告に対する質疑・討論、 採決

(6) 一般質問

- 質問形式 会派代表質問（会派の代表による質問。12月定例会のみ）
委員会代表質問（常任委員会の代表による質問。一括質問方式
と一問一答方式の選択制。令和元年12月定
例会より採用）
個人質問（一括質問方式と一問一答方式の選択制）
- 通告期限 招集日当日 午前10時
- 発言時間

一括質問方式の場合

区 分	時 間（発言及び答弁時間を含む）
委員会代表質問・個人質問	40分
会派代表質問（会派構成2名）	70分
※以降、会派構成人数が1名増えるごとに10分加算	

一問一答方式の場合

区 分	時 間（発言のみ）
委員会代表質問・個人質問	20分（答弁時間の制限なし）

- 発言回数
会派代表質問・・・4回
委員会代表質問、個人質問・・・制限なし

(7) 委員会等

- 常任委員会

委員会名	所管事項	定 数
総務産業委員会	総務部、産業観光部、建設水道部、会計課、 議会事務局、固定資産評価審査委員会、 公平委員会、監査委員、選挙管理委員会、 農業委員会の所管に関する事項 他の委員会に属さない事項	8人
社会文教委員会	民生部、教育委員会、市立大町総合病院の 所管に関する事項	8人

- 議会運営委員会（7人） 会派において選出

○特別委員会

委員会名	付議事件	構成
決算審査特別委員会	各会計決算審査並びに市の事務事業についての調査及び評価 (例年6月定例会にて設置)	全議員
情報化推進特別委員会	開かれた議会を推進する一環としての情報化の推進、情報の発信及び収集をするための調査研究及び取組み	8人
臭気対策特別委員会	悪臭から市民の安全で安心な生活環境を守るための調査研究及び環境改善への取組み	8人

○議会だより編集委員会（8人） 会派及び常任委員会から選出

○政策調整委員会（9人）

正副議長、常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、議会だより編集委員会委員長、正副議長・常任委員長を出していない会派（無所属含む）から各1名

（8）研修視察費用

常任委・議運行政視察 115,000円以内（1人あたり年額）

政務活動費交付金 40,000円（1人あたり年額）

海外視察なし

旅費 日当 往復120km以上 240km未満 1,300円

往復240km以上（120km以上の宿泊）2,600円

県内日当の支給なし

宿泊費 13,100円（県外）／11,800円（県内）

（9）議会だより

名称 「おおまち市議会だより」

発行回数 年4回（定例会毎）

発行部数 35,000部（8,750部／回）（全世帯へ配布）

編集方法 編集委員会による自主編纂

予算 令和5年度 1,320,000円

(10) 議会中継

配信方法	本会議	一般質問	常任委員会	凡例
ケーブルテレビ	○	◎		◎：生中継・録画配信 ○：生中継のみ ●：録画配信のみ
インターネット	◎	◎	●	
イントラネット	○	○		
有線放送電話	○	○		

※令和2年10月より常任委員会録画配信開始（令和2年6月定例会分から）

配信方法	配信方式
ケーブルテレビ	大町市ケーブルテレビ
インターネット	ASP方式・マルチメディア対応・会議録検索システムとリンク
イントラネット	庁内配信：ハードウェアエンコーダー
有線放送電話	大町市有線放送電話農業協同組合、音声のみ

(11) 令和5年度議会費当初予算（一般職人件費を除く）

（単位：千円）

費目	予算額	備考
報酬	58,032	議員報酬
職員手当等	22,320	議員期末手当
共済費	18,352	議員共済給付費負担金ほか
報償費	300	議員研修会講師謝礼
旅費	3,919	常任委員会等視察旅費、その他普通旅費
交際費	500	議長交際費
需用費	2,524	議会だより印刷費ほか
役務費	413	本会議場放送設備保守点検料ほか
委託料	1,650	会議録調製及び公開業務委託料
使用料及び賃借料	303	コピー機リース料ほか
負担金補助及び交付金	1,293	政務活動費 640千円（@4万円/人）



大町市キャラクター「おおまびょん」

大町市議会事務局

〒398-8601 長野県大町市大町3887番地

TEL : 0261-22-1139 (直通)

0261-22-0420 (代表) [内線 581・582]

FAX : 0261-22-1223

E-mail : gikai@city.omachi.nagano.jp

大町市議会ホームページ <http://www.city.omachi.nagano.jp/>